

定植 45 日後からの電照開始と抽苔後摘心により 複数本に仕立てる秋冬カンパニュラの栽培法

福島県農業総合センター 浜地域研究所

1 部門名

花き－その他の1・2年草－整枝・剪定

2 担当者名

古川鞠子、佐久間祐樹、三田村敏正

3 要旨

秋冬期間におけるカンパニュラ栽培は、定植直後からの電照開始による無摘心1本仕立てが一般的である。収穫本数を増やすため、抽苔前に彫刻刀で芯をえぐり取り（摘心）、複数本に仕立てる方法が試されてきたが、摘心作業の負担が大きく、収穫枝の曲がりが強くなること等が課題となっている。このため、定植 45 日後から電照を開始し、抽苔後摘心により複数本に仕立てる栽培試験を行った結果、曲がりが少なくなり、M～2L の品質が確保できた。

- 抽苔開始後茎丈が約 5cm 以上となったら5節以上残してハサミで摘心を行い、側枝を3本または5本伸ばした。
- 電照は赤色 LED (NABESEI,DPDL-R-9W) を用いて 10 m²に1球を高さ 1.6m に設置し、定植 45 日後から発蕾まで 23 時～1 時に点灯した。
- この方法では、茎径が無摘心1本仕立てでは太くなりすぎるが(図2)、3本または5本仕立てでは適正な太さとなり、枝の曲がりも少なく、切り花長も確保できた(図1、表1)。



図1 5本仕立ての収穫枝の曲がりの程度 (チャンピオン・iQピンク)

表1 切り花品質(2024-2025年度)

品種	仕立て本数	採花時期 (盛期)	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	茎径 (mm)	有効蕾数	調製長 (cm)	調製重 (g)	規格別(調製長) 収量割合(%)		
									2L	L	M
チャンピオン・iQディーブ	3本	4月15日	81.9	133	9.0	47.6	70.4	87	22.2	60.0	17.8
ブルー	5本	4月15日	79.1	87	8.4	34.8	66.9	66	9.3	50.7	40.0
	無摘心1本	4月15日	92.2	639	21.6	223.3	78.7	270	86.7	13.3	-
チャンピオン・iQピンク	3本	4月7日	88.6	112	9.0	46.4	76.9	77	68.9	31.1	-
	5本	4月7日	89.4	90	8.4	33.5	76.4	69	69.3	25.3	5.3
	無摘心1本	4月2日	106.9	493	20.1	188.4	80.0	186	100	-	-

播種：2024年9月9日、定植：2024年10月24日、栽植密度：株間20cm×畝間60cm、3条どり植え

保温・加温：内カーテンにより2024年12月2日から収穫終了まで保温し、2025年1月14日から収穫終了までの夜間(16:00～9:00)にハウス内4ヶ所にハウスヒーター(暖太郎10坪用、発熱量650kcal/h)を設置し、加温。

規格(調製長)は2L：80cm、L：70cm、M：60cm、S：50cm

各調査項目は枝を株の付け根から切り取って収穫し、切り花長、切り花重、茎径(付け根から10cm)、有効花蕾数を測定し、調製長、調製重は収穫枝の曲がりを除いて規格別に切りそろえ、切り口から20cmの葉と側枝を除去して測定した(図2)。



5本仕立て 無摘心1本仕立て

図2 調製後の切り花 (チャンピオン・iQピンク)

4 成果を得た課題名

- 研究期間 令和3～7年度
- 研究課題名 浜通り地方に適した野菜・花き生産支援技術の開発

5 主な参考文献・資料 なし